

2025年冬 青春18きっぷの旅①

～北陸の第3セクター鉄道乗車と関西地区のJR路線再乗車

2025年12月12日(金)～13(土)

【2025年12月12日(金)】

これまでの第3セクター鉄道の旅で東日本と中部・東海の路線は踏破しましたが、北陸の「のと鉄道」と「富山地方鉄道富山港線」が未乗車のままでした。そのため、両路線に乗車する案を考えていましたが、能登半島の北部にありJR七尾線の北側にある「のと鉄道」に乗るためには七尾線を往復することになります。そこで、今回は飛行機で羽田空港から能登空港に直行する案を考えてみました。そう考えたのは旅行時間のこともあります。能登空港には仕事で関係していた長岡の航空路監視レーダーが移設されて能登空港に設置されているので完成後の姿を見たかったこともありましたが、青春18きっぷの利用者としては可能な限り安く旅をすることを忘れず、ANAが毎週発表している通常の半分のマイルで乗れる路線に羽田～能登空港線が指定されるのを毎週チェックし、自身の都合も考慮して12月12日の旅となりました。

羽田から能登空港へのフライトは朝と午後に1便ずつですが、この週の朝の便は結構混んでいて満席の日もありました。12日(金)に羽田空港を8時55分に出発するANA 747便に乗ってみると、週末にもかかわらず仕事関係と思われる人が多く、地震の復興関係なのでしょうか農林水産省の作業服姿の方が数人隣の席に座っていました。飛行機はほぼ定刻に羽田を出発し、高崎から糸魚川の上空あたりを飛行して1時間で10時前には能登空港に到着しました。天気予報では午前中は小雪の予報だったのですが、能登空港には少し雪が舞っていたものの滑走路に積もる程ではありませんでした。空港には地震からの復興支援のために作られた宿泊施設やレストランなどが設置されており、地震の影響の大きさを感じました。私は空港のターミナルビルを出てすぐ近くにある航空路監視レーダーを外から眺め、雪が少し強くなってきたのでターミナルビルに戻って10時25分発の金沢行き的高速バスで「のと鉄道」の終点である穴水駅に向かい10時40分に到着しました。

<2025年12月12日>

- ◇ 羽田空港
- | 8:55 発
- | ANA 747 便
- | 9:55 着
- ◇ 能登空港
- のと里山空港
- | 10:25 発
- | 北陸鉄道高速バス 金沢行き
- | 10:40 着
- 穴水駅前
- 穴水
- | 12:02 発
- | のと鉄道七尾線 普通 七尾行き
- 和倉温泉(直通運転)
- | JR七尾線 普通 七尾行き
- | 12:56 着
- 七尾
- | 13:23 発
- | JR七尾線 普通 金沢行き
- | 14:46 着
- 津幡
- | 15:21 発
- | IRいしかわ鉄道 普通 富山行き
- 倶利伽羅(直通運転)
- | あいの風とやま鉄道 普通 富山行き
- | 16:09 着
- 富山

今回の旅では、このバスと「のと鉄道」を乗り継いで割安に利用できる空港連絡切符があることを空港内のポスターで知り、その切符を利用しました。乗車する「のと鉄道」の列車は12時02分発のため、少し時間があつたので駅に併設されている道の駅を眺めた後に駅前の小さな喫茶店でランチを食べました。地震から約2年が経過した現在の穴水駅前の風景からは、2024年元旦の地震を強く感じさせるものは私が見た限りでは見られませんが、これも地震のせいかなと感じる物は幾つかあつたように思います。



(1) のと鉄道

第3セクターの「のと鉄道」は、七尾から穴水までの33.1kmの間をJR西日本の線路を借りて第2種鉄道事業として列車を運行していますが、七尾と和倉温泉の間は両社の共用区間となっています。そのため、JR西日本も和倉温泉まで金沢方面からの特急列車を運行しています。私は大学時代の帰省旅行で七尾線の七尾までは乗車していましたが、七尾から和倉温泉までの間が未乗車だったので2019年12月29日に「2019年冬 青春18きっぷの旅 ~参宮線、名松線と北陸の未乗車路線」で七尾から和倉温泉まで乗車したことを書きました。その時に穴水まで「のと鉄道」に乗車して帰ることも考えたのですが、時間の関係で乗車しなかったことを今回改めて後悔しました。

のと鉄道のダイヤ

行き先	七尾
穴水	12:02
能登鹿島	12:12
西岸	12:21
能登中島	12:30
笠師保	12:36
田鶴浜	12:45
和倉温泉	12:50
七尾	12:56

のと鉄道は地震から復旧した後の2025年8月にも集中豪雨で線路が崩れて一部区間を運休していましたが、直ぐに復旧して現在は全線で通常運転をしています。のと鉄道には色々なラッピング車両があり、アニメが描かれた車両が何両も穴水駅に停車していましたが、その中で私が知っていたのはポケモンが描かれた黄色い車両だけでした。他の第3セクターと同じように、こうしたラッピング車両を運行することで鉄道の利用者を増やす効果があるのだらうと思います。また、現在の穴水は終着駅のためその先に線路はありませんが、かつては七尾線が穴水から輪島まで延びており、穴水から蛸島までは能登線があつた頃の面影は現在の穴水駅のホームからみた限りでは見つけられませんでした。



定刻の12時02分に出発したディーゼルカーは、最初の駅である能登鹿島に停車しました。この駅のことは、テレビの鉄道番組で桜の美しい駅として紹介されたのを見



た記憶があり、桜の季節に来たいと思っていたのが12月になってしまいました。今の季節は桜の木の幹と枝しかありませんでしたが、短いホームの周りには大きな桜の木が沢山植えられており、桜の時期にはライトアップもされ一層美しくなるのだらうと思いました。そして、次の駅の西岸に到着する際に違う駅の名前か書かれた駅名標があったので違和感を覚えました。停車している時に運転士さんに聞くと、ラッピング列車にもなっている「花咲くいろは」というアニメの舞台での駅名「ゆのさぎ(湯乃鷺)」と書かれているのだそうです。そう言えば、高倉健の映画「鉄道員」の舞台となった根室本線の幾寅(2024年4月廃止)にも映画で使われた幌舞の看板の方が大きく書かれていたことを思い出しました。

列車は波静かな七尾湾を左手に見ながら順調に走り続けました。このあたりはカキの養殖が盛んなようで、養殖イカダがあちこちに見られました。また、少し沖合には観光ガイドに書かれていた「ボラ待ちやぐら」も見ることができました。乗車中は先頭車両で前方を見ていましたが、その時に気づいたことは「のと鉄道」の線路脇にあるキロポストの数字(キロ数)が大きいことでした。おそらく、この数字は国鉄・JR時代の七尾線の津幡からの距離を表示したキロポストが残っているからではないかと思いました。

和倉温泉に12時50分に到着した時点で「のと鉄道」は全線乗車となり、七尾には定刻の12時56分に到着しました。七尾からはJR西日本の七尾線で津幡まで乗車するため、今回は事前に青春18きっぷの3日券を購入していました。七尾を13時23分の七尾線に乗車し、能登半島の田園風景を見ながら津幡で「I R いしかわ鉄道」に乗り換え、倶利伽羅からは「あいの風とやま鉄道」に直通で乗り入れて終点の富山には16時09分に到着しました。

(2) 富山地方鉄道富山港線

富山地方鉄道の富山港線は、富山駅から岩瀬浜を結ぶ7.7kmの路線です。そのうち、富山駅から奥田中学校前までの1.2kmは道路上の軌道を走る路面電車区間ですが、奥田中学校前から終点の岩瀬浜までの6.5kmは専用軌道を走る鉄道区間です。しかし、現在の運転形態になるまでには色々な変遷があり、私鉄の富岩鉄道として始まった事業が国有化されて富山港線となり、国鉄民営化でJRに移管されてからも色々な変遷がありました。その中で特筆すべき点は富山駅から奥田中学校前までのルートが国鉄・JRの富山港線の鉄道から道路上を走る軌道に変更され、富山地方鉄道によるモダンなライトレール(LRT)での運行に至ったことです。



岩瀬浜駅のLRT車両

そのため、富山地方鉄道富山港線は第3セクターではない私鉄の富山地方鉄道の路線ではありますが、奥田中学校前から岩瀬浜までの区間は国鉄・JRの富山港線であったことから今回の旅の対象として扱うことにしました。

富山港線の乗り場は大きな JR 富山駅の 1 階にあり、雨でも濡れないで JR と簡単に乗り継ぎできるようになっていました。富山港線の車両は 2 両連結のモダンな LRT で 15 分間隔で運転されており、私が乗った 16 時 30 分の岩瀬浜行きは学生の帰宅時間で座席は満席に近い乗車率でした。

富山駅を出てしばらくは路面電車として道路を走るため駅間距離が短く、1 分毎に停車するダイヤとなっていました。奥田中学校前を過ぎると国鉄・JR 七尾線の鉄道区間に入るため乗り心地も快適で速度も上がったような気がしました。線路の周辺は住宅化されていますが終点の岩瀬浜が近くなると日本海が近いことを感じる風景となり 17 時 33 分に終点の岩瀬浜に到着しました。岩瀬浜は北前船の交易で発展した地区で、今でも当時の古い建物が見られる観光地となっているようです。今回は観光の時間はありませんでしたが、近くには有名な日本酒の酒蔵もあるそうなので機会があれば再度訪れたいと思いました。

岩瀬浜からの折り返しの 17 時 04 発は、富山駅を経由して市内電車のグランドプラザ前まで行く電車となりました。ちょうど帰宅時間帯となったせいか、途中駅での乗降客も増えて満席に近い状況となりました。富山駅には 17 時 33 分に到着し、旧国鉄・JR 富山港線の区間を含む富山地方鉄道富山港線の全区間を往復乗車することができました。

<2025 年 12 月 12 日>

- 富山駅
- | 16:30 発
- | 富山地铁富山港線 岩瀬浜行き
- | 16:54 着
- 岩瀬浜
- | 17:04 発
- | 富山地铁富山港線
- | グランドプラザ前行き
- | 17:33 着
- 富山駅

富山港線のダイヤ

行き先	岩瀬浜
富山駅	16:30
オークスカナルパークホテル富山前	16:31
インテック本社前	16:32
龍谷富山高校前	16:33
奥田中学校前	16:37
下奥井	16:38
粟島	16:41
越中中島	16:42
城川原	16:45
犬島新町	16:46
蓮町	16:47
萩浦小学校前	16:50
東岩瀬	16:51
競輪場前	16:52
岩瀬浜	16:54

(3) あいの風とやま鉄道、IR いしかわ鉄道、ハピラインふくい線

富山から敦賀までは、北陸新幹線の開通により JR の北陸本線から第 3 セクター鉄道に衣替えした「あいの風とやま鉄道」、「IR いしかわ鉄道」及び「ハピラインふくい線」を利用します。今回の旅には、これら 3 社が共同で発売している「北陸 3 県 2Dayパス」を利用しました。このパスは大人 2800 円で 2 日間使用できるのですが、1 日だけの利用でも個別に乗車区間の



鉄道会社 HP から引用

切符を買うよりは割安だったのでこのパスを利用しました。

富山を 18 時.07 分発の金沢行きは、「あいの風とやま鉄道」から「I R いしかわ鉄道」へ直通運転で金沢に 19 時 06 分に到着しました。この区間はすでに乗車済みの区間のため今回初めて乗車した区間ではありません。

次に乗車する金沢から敦賀までの区間は国鉄・JR 時代の北陸本線には何度か乗車していましたが、北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸されて競合する在来線が第 3 セクター化されてからは初めて乗車します。金沢発 19 時 25 分の「I R いしかわ鉄道」は、「ハピラインふくい線」の福井まで直通運転するため、福井には 20 時 44 分に到着しました。そして、福井からは 20 時 58 分発の「ハピラインふくい線」の敦賀行きに乗り継いで敦賀には 21 時 49 分に到着しました。これで「I R いしかわ鉄道」の金沢から大聖寺までの区間と「ハピラインふくい線」の全区間（大聖寺～敦賀）は乗車済みとなりました。

今日の目的地である京都に行くため、敦賀 22 時 08 分発の北陸本線の最終電車に乗り、米原からも最終の京都行き 23 時 01 分発に乗り継いで京都に到着したのは日が変わった 0 時 12 分でした。最近ではインバウンドの旅行者が増えてホテルが高騰していると聞いていましたが、今回は幸いなことに京都駅前で格安のホテルを確保することができました。これで今日一日の長い旅は終了です。



<2025 年 12 月 12 日>

- 富山
| 18:07 発
| あいの風とやま鉄道 普通 金沢行き
- 倶利伽羅 (直通運転)
| I R いしかわ鉄道 普通 金沢行き
| 19:06 着
- 金沢
| 19:25 発
| I R いしかわ鉄道 普通 福井行き
- 大聖寺 (直通運転)
| ハピラインふくい線 普通 福井行き
| 20:44 着
- 福井
| 20:58 発(
| ハピラインふくい線 普通 敦賀行き
| 21:49 着
- 敦賀
| 22:08 発
| J R 北陸本線 普通 米原行き
| 22:58 着
- 米原
| 23:01 発
| J R 東海道本線 普通 京都行き
| 00:12 着(5 番線)
- 京都

金沢～福井のダイヤ

	列車種別	普通
I R いしかわ鉄道	金 沢	19:25
	西 金 沢	19:29
	野 々 市	19:32
	松 任	19:36
	西 松 任	19:39
	加 賀 笠 間	19:42
	美 川	19:45
	小 舞 子	19:48
	能 美 根 上	19:51
	明 峰	19:54
	小 松	19:58
	粟 津	20:03
	動 橋	20:07
	加 賀 温 泉	20:10
	大 聖 寺	20:15
ハピラインふくい線	牛 ノ 谷	20:20
	細 呂 木	20:23
	芦 原 温 泉	20:27
	丸 岡	20:32
	春 江	20:35
	森 田	20:38
	福 井	20:44

ハピラインのダイヤ

列車種別	普通
福 井	20:58
越 前 花 堂	21:01
大 土 呂	21:05
北 鯖 江	21:09
鯖 江	21:13
武 生	21:18
王 子 保	21:22
南 条	21:26
湯 尾	21:30
今 庄	21:34
南 今 庄	21:37
敦 賀	21:49

【2025年12月13日(土)】 ◇JR路線再乗車の旅◇

今回の旅では3日間有効の青春18きっぷを購入したため、あと2日間利用できます。しかし、最近の青春18きっぷは連続した3日間利用しなければならないため13日と14日に利用する必要があります。そこで、今日は京都から近い関西地区には対象の第3セクターの路線が無いため、JR路線の中で乗車済みではあるものの乗車日と乗車列車の情報が明確でなかった路線を再乗車することにしました。具体的には「全国のJR鉄道めぐり」の補遺の中に書かれている以下の路線に再乗車しました。

(4) 奈良線、桜井線及び阪和線

神戸に勤務していた2001年か2002年頃に奈良線、桜井線、阪和線に乗車しましたが、その乗車記録が残っておらず、写真もありませんでした。そこで、今回は当時の乗車ルートをとどめて奈良線、桜井線、阪和線に乗車してきました。

<2025年12月13日>

- 京都
 - | 06:07 発
 - | J R奈良線 普通 奈良行き
 - | 07:18 着
- 奈良
 - | 07:31 発
 - | J R桜井線 普通 王寺行き
 - | 08:13 着
- 高田(直通運転)
 - | 08:16 発
 - | J R和歌山線 普通 王寺行き
 - | 08:32 着
- 王寺
 - | 08:46 発
 - | J R関西本線
 - | 大和路快速 天王寺行き
 - | 09:04 着
- 天王寺
 - | 09:13 発
 - | J R阪和線 紀州路快速 和歌山行き
- 日根野(直通運転)
 - | J R阪和線 紀州路快速 和歌山行き
 - | 10:27 着
- 和歌山

京都を6時07分発の奈良行きの奈良線に乗車しましたが、正式には京都から木津までの34.7kmが奈良線で、木津から奈良までの7.0kmは関西本線です。不思議なことに、奈良線的全駅は京都府なのですが、全ての電車が京都から奈良まで運転しているので奈良線と呼ばれることに違和感を覚えていませんでした。

京都を出発すると東福寺、桃山、黄檗、宇治など歴史の教科書で見た名前の駅がありました。子供が小さかった頃に宇治の平等院に



京都駅の奈良線車両

来た記憶もありますが、その時に奈良線に乗ったのか近鉄で来たのかも記憶に残っていません。奈良線の車窓から住宅地と田園の広がる沿線風景を見ていると、電車は7時18分に奈良に到着しました。

次に乗車する桜井線は、奈良から桜井を經由して大和高田市の高田までを結ぶ29.4kmの路線で「万葉まほろば線」の愛称で呼ばれています。奈良を7時31分に出発する電車は、路線の名称となって

奈良線のダイヤ

列車種別	普通
京 都	6:07
東 福 寺	6:10
稲 荷	6:13
J R 藤 森	6:16
桃 山	6:18
六 地 蔵	6:21
木 幡	6:23
黄 檗	6:26
宇 治	6:29
J R 小 倉	6:32
新 田	6:34
城 陽	6:37
長 池	6:42
山城青谷	6:45
山城多賀	6:47
玉 水	6:50
棚 倉	6:54
上 狛	6:57
木 津	7:10
平 城 山	7:13
奈 良	7:18



奈良駅の桜井線車両

阪和線のダイヤ

列車種別	快速
天王寺	9:13
美章園	↓
南田辺	↓
鶴ヶ丘	↓
長居	↓
我孫子町	↓
杉本町	↓
浅香	↓
堺市	9:22
三国ヶ丘	9:24
百舌鳥	↓
上野芝	↓
津久野	↓
鳳	9:30
富木	↓
北信太	↓
信太山	↓
和泉府中	9:35
久米田	↓
下松	↓
東岸和田	9:42
東貝塚	↓
和泉橋本	↓
東佐野	↓
熊取	9:47
日根野	9:54
長滝	9:56
新家	9:59
和泉砂川	10:04
和泉鳥取	10:07
山中溪	10:10
紀伊	10:17
六十谷	10:21
紀伊中ノ島	10:24
和歌山	10:27

いる桜井を經由して高田からは和歌山線に乗入れて王子まで直行します。1990年頃に大阪で勤務していた時に同僚が桜井に住んでいたため、桜井には何となく馴染みがありました。彼も大阪市内までの通勤には桜井線を利用していたこと

と思います。奈良からの桜井線に乗車していると、天理、三輪、香久山、畝傍など聞き覚えのある名前の駅も幾つかありましたが、京終（きょうばて）、帯解（おびとけ）、樺本（いちのもと）、長柄（ながら）、巻向（まきむく）などの難解な読み名の駅が連続するため車窓から見る駅名標と到着駅の案内放送に妙な違和感を覚えました。

乗車したのは土曜日でしたが、クラブ活動に行くのでしょうか高校生の姿もたくさん見られました。電車は8時13分に高田に到着し、これで桜井線の全区間を再乗車することができました。電車は高田からは和歌山線に乗入れて王子まで行きますが和歌山線は2018年8月11日に全線乗車済みです。

王子で関西本線に乗り換えて天王寺まで行き、天王寺から阪和線に乗車します。阪和線は天王寺から和歌山を結ぶ613kmの路線で36駅あります。阪和線には乗車したことはありましたが、乗車日等のデータは残っていません。今回乗車する天王寺9時13分発の電車は紀州路快速 和歌山行きで、関西空港行きの電車が併結されているため日根野で切り離しが行われます。関西空港行きに乗ると和歌山に行けないのでホームの案内と車両の行き先表示を確認して和歌山行きに乗車しました。



天王寺駅の阪和線車両

関西空港行きの車両はスーツケースを持った旅行者で一杯でしたが、和歌山行きも結構混んでいました。阪和線の車窓から見える建物や施設には見覚えがあり、懐かしい気持ちが蘇りました。乗車した電車は快速のため途中の駅を通過し、終点の和歌山には10時27

分に到着しました。これで阪和線の全区間を再乗車することができました。

(5) 関西空港線、大阪環状線及び東西線

桜井線のダイヤ

列車種別	普通
奈良	7:31
京終	7:34
帯解	7:38
樺本	7:41
天理	7:45
長柄	7:48
柳本	7:51
巻向	7:53
三輪	7:56
桜井	7:59
香久山	8:02
畝傍	8:06
金橋	8:10
高田	8:13

和歌山から関西空港に行くため、和歌山を 10 時 40 分発の紀州路快速に乗り、日根野で 11 時 21 分発の関西空港線の関西空港

関西空港線のダイヤ

列車種別	普通
日根野	11:21
りんくうタウン	11:28
関西空港	11:34

行きに乗り換えて関西空港には 11 時 34 分に到着しました。途中のりんくうタウンには 2011 年頃に住んでいたことがあり、車窓から見える風景には非常に懐かしい思い出があります。しかし電車はあっという間に関西空港の連絡橋を通過して 11 時 34 分に関西空港に到着しました。関西空港で改札を出て空港のターミナルビルを見て帰ろうかとも思ったのですが、東京に戻る時間を考えて改札を出ないで折り返しの 11 時 47 分発の関空快速で天王寺方面に戻ることにしました。この電車は天王寺から大阪環状線に入って外回り（時計回り）で大阪を経由して天王寺まで行きますが、大阪環状線の天王寺から京橋までの区間を再乗車するために 12 時 40 分に天王寺で下車しました。

- <2025 年 12 月 13 日>
- 和歌山
| 10:40 発
| J R 阪和線 紀州路快速 京橋行き
| 11:16 着
 - 日根野
| 11:21 発
| J R 関西空港線 関西空港行き
| 11:34 着
 - 関西空港
| 11:47 発
| J R 関西空港線 天王寺行き
 - 日根野（直通運転）
| J R 阪和線 関空快速 京橋行き
| 12:40 着
 - 天王寺
| 12:45 発
| J R 大阪環状線（内回り）
| 12:58 着
 - 京橋
| 13:07 発 J R 東西線 塚口行き
| 13:25 着
 - 尼崎



関西空港のエアプラザ棟



関西空港の関空快速車両

大阪環状線には何度も乗車していましたが、乗車日時が明確でなかった天王寺から京橋までの区間を再乗車するため、天王寺を 12 時 45 分発の内回り（反時計回り）に乗車して京橋に 12 時 58 分に到着しました。

京橋からは東西線に乗り換えて尼崎に向かいます。東西線は京橋から尼崎を結ぶ 12.5 km の路線でほとんどの区間が地下となっており、駅の数はいずれの駅を含めて 9 駅あります。東西線には 2017 年 8 月 23 日の「片町線、おおさか東線及び東西線」の旅で京橋から大阪城橋詰まで乗車して全線乗車していましたが、尼崎から大阪城北詰までの乗車日と

乗車した列車のダイヤが明確ではありませんでした。そこで、この機会に東西線も全区間を再乗車することにし、京橋を13時07分発の東西線に乗車しました。この電車はJR宝塚線の塚口まで行く快速で、13時25分に東西線の終点の尼崎で下車しました。これで東西線も全区間の再乗車を完了です。

東西線のダイヤ

列車種別	快速
京 橋	13:07
大阪城北詰	13:09
大阪天満宮	13:11
北 新 地	13:13
新 福 島	13:15
海 老 江	13:17
御 幣 島	13:20
加 島	13:23
尼 崎	13:25

尼崎からは東京に戻るいつもの旅です。米原、大垣、豊橋、浜松、熱海で乗り継いで、品川に到着したのは22時58分でした。これで今日一日の関西地区JR路線再乗車の旅が終わりました。

<2025年12月13日>

- 尼崎
| 13:53 発
| J R東海道本線 新快速 長浜行き
| 15:23 着
- 米原
| 15:30 発
| J R東海道本線 普通 大垣行き
| 16:04 着
- 大垣
| 16:10 発
| J R東海道本線 新快速 豊橋行き
| 17:41 着
- 豊橋
| 17:44 発
| J R東海道本線 普通 浜松行き
| 18:18 着
- 浜松
| 18:37 発
| J R東海道本線 普通 熱海行き
| 21:23 着
- 熱海
| 21:26 発
| J R東海道本線 普通 宇都宮行き
| 22:58 着
- 品川